

## 福祉団体へ雇用の場

競艇場内には、19店の飲食店、売店などがありますが、そのうち16店が(社)蒲郡市社会福祉協議会、(財)蒲郡市母子寡婦福祉会、(財)岡崎市母子寡婦福祉会の福祉団体の直営店で、福祉団体の収益確保の場としての面も持っています。



## ナイターレースで生き残り

平成11年度には、地元の方のご理解をいただき、ナイターレースを開始しました。これは、仕事帰りのファンの誘客と電話投票による売り上げ増を期待して取り組んだものです。

初年度は36日間開催しましたが、徐々に開催日数を増やし、16年度では100日間に拡大しました。

当初は、ナイターレースが目新しく新鮮味があり、売り上げ増につながりましたが、ナイターレースを開催する場も2場から3場が増えてくると、昨年の一般ナイターレースの1日当たりの売り上げは、11年度と比較した場合、56%まで落ちていきます。

蒲郡競艇では、競艇界初の冬季ナイターレースを開催したり、これまで以上にナイターレースの開催日数を増やしたり、薄暮レースや1日24レースを発売する昼夜併用発売など工夫をこらして売り上げの向上を図っています。



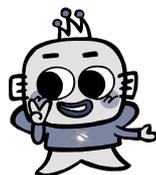
## 経費削減へさらなる努力

急激な売上の減少に伴い、経費削減にも真剣に取り組んでいます。例えば、岡崎市への交付金は、今年度から収益配分により交付することで合意しました。これにより、16年度には3億9千万円であった交付金が、17年度は5千万円程度に減少する予定です。

また、臨時従業員も昭和50年台の最高時には千人を超えていましたが、削減を行い平成14年度には570人、17年度では421人での運営となっています。今後もさらに機械化の推進など効率的な運営に取り組んでいきます。

## 名古屋に新ボートピア計画

名古屋市港区の地下鉄名城線築地口駅前に、蒲郡競艇と常滑競艇の共同施行で場外発売所「ボートピア名古屋」の設置計画が進んでいます。今年1月に地元自治体である名古屋市と蒲郡市、岡崎市、常滑市、半田市の間で行政協定が締結されました。今後は、地元警察との協議を整え、国土交通省に設置の確認申請を提出し、確認後に施設の建設に着手、オープンとなります。ここでは、年間100億円の売り上げを見込んでいます。



## レンタルルームを新設

蒲郡競艇では、グループやカップルでの利用を促進するためレンタルルームを新設し、4月から利用を開始しました。

西スタンドに2室あり、また、東スタンドには、2室のボックス室を設けました。ご予約は、利用日の2カ月前から電話または競艇場内1階中央案内所で受け付けます。(受け付けは蒲郡競艇開場日の開門時間からに限ります。☎67♦6606)

### ●レンタルルームの利用料金

	ルーム名	利用者数(人)	利用金額(円)
西スタンド	1マークA	5~30	8,000
	1マークB	5~16	5,000
東スタンド	2マークA	2~8	2,000
	2マークB	2~6	1,500